

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
1	1	1	(1)	自然・景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の自然・景観を保護していくことへの理解や保護に向けた活動の促進を図るための啓発活動を推進。</li> <li>・草原維持のための牧野組合が実施する野焼き費用を補助。</li> </ul>	啓発活動件数(件)	15	12	15	13	15		20 (毎年度)	B
						野焼き実施面積(ha)	2,355	2,353	2,433	2,465	2,447		2,355 (2024年)	
						関連予算額(千円)	/	108,101	108,396	111,921	106,373	111,635	/	
2	1	1	(1)	日本で最も美しい村づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民による日本で最も美しい村づくりにつながる活動(特産品開発、景観保全、伝統文化承継等)の補助等。</li> <li>・2023年度は、自然環境保全活動3件に対して補助を実施し、町民の主体的な美しい村づくりにつながる活動を支援した。</li> <li>・町内団体等が自主的に取組む清掃活動に係る経費に対する補助制度を創設し、1件支援した。(予算額:300千円)</li> </ul>	日本で最も美しい村づくり事業を活用した町民の活動件数(件)	3	0	4	4	3		5 (毎年度)	C
						関連予算額(千円)	/	1,955	7,586	6,958	8,258	8,258	/	
3	1	1	(1)	農林業への新規就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業次世代人材育成投資資金等により新規就労者の経済的支援。</li> <li>・新規就労者と既存事業者間の人脈形成、経営課題や情報共有結束強化を図るための事業者間の交流活性推進。</li> <li>・営農集団の設立、法人化に向けた活動支援。</li> </ul>	農林業への新規就労者数(人)	0	2	3	2	2		3 (期間累計)	B
						営農を主目的として活動する団体数(団体)	5	5	5	5	5		7 (2024年度)	
						関連予算額(千円)	/	9,600	6,375	3,000	3,000	3,000	/	
4	1	1	(2)	林業の負担軽減事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業機械等導入事業により林業機械、安全装備品の導入費用を補助。</li> <li>・作業道の原材料支給により、作業の軽減化を推進。</li> </ul>	補助金の活用による林業機械等導入件数(件)	11	17	6	9	11		15 (2024年度)	C
						関連予算額(千円)	/	3,297	5,461	7,070	8,450	12,430	/	

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
5	1	1	(2)	農林業競争力強化支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内外のイベント並びにSMOのホームページ及びふるさと納税関連サイト等の電子媒体を通じて、本町の農林産品の良さを効果的にPRし、事業者の売上につなげる。</li> </ul>	ふるさと納税返礼品代として農林業関係事業者に支払われた額(千円)	4,085	16,365	15,478	30,155	8,555		6,944 (2024年度)	A
					<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度のふるさと納税謝礼品を寄附者に送付し、その代金として農家及び林業関係者に支払いを行った。</li> <li>コロナが収束した事で観光関連への寄附の偏りが生じた事や、制度改正の影響を受け、農林業関連予算額が減少した。</li> </ul>	関連予算額(千円)		34,294	32,427	32,427	39,638	12,989		
6	1	1	(3)	観光関連情報発信強化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMOや観光協会と連携した地域資源・観光資源の発掘、利活用、販売及び情報発信等(ふるさと納税制度の活用を含む)。</li> </ul>	観光関連情報の閲覧件数(PV)	161,690	533,970	555,836	621,721	604,829		300,000 (2024年度)	A
					<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度のふるさと納税謝礼品を寄附者に送付し、その代金として南小国町観光協会及び黒川温泉観光旅館協同組合に支払いを行った。</li> <li>多くの人へふるさと納税を検討いただくため、ポータルサイトの新規導入やDM送付を積極的に行った。</li> </ul>	ふるさと納税返礼品代として観光業関係事業者に支払われた額(千円)	26,150	32,578	44,051	55,133	69,941		32,263 (2024年度)	
7	1	1	(3)	観光客受入環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード(設備のバリアフリー化等)、ソフト(多言語対応等)両面で観光客の満足度が高まるような環境の整備を促進。</li> </ul>	観光客受入環境整備実施件数	30	1	2	3	6		35 (2024年度)	D
					<ul style="list-style-type: none"> <li>すずめ地獄の給水送水工事並びにトイレ改修工事を行い、トイレ利用を安心して行えるよう整備を行った。</li> <li>バス停の茅葺き屋根の補修、看板の改修等を行った。</li> <li>インバウンド向けに宿泊施設等での説明ツールを英語で作成し配布を行った。</li> </ul>	関連予算額(千円)		38,131	28,307	21,361	23,678	29,478		
8	1	2	(4)	教育ICT環境整備事業	小中学校へのICT機器備品(タブレット端末)を整備する。	児童生徒のための学習用コンピュータの整備率(人/台)	3.88	1.00	1.00	1.00	1.00		1.5 (2024年度末)	A
					ICT機器備品(タブレット端末)300台を購入済。	関連予算額(千円)		16,500	0	0	0	0		

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
					2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)		開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
9	1	2	(4)	故郷を愛する心を育成する教育推進事業	小中学生を対象とした故郷を愛する心を育成するための教育プログラムに対する満足度をアンケート調査にて実施する。	故郷を愛する心を育成するための教育プログラムに対する満足度(点/4点満点)	-	3.67	3.69	3.88	3.63		3 (毎年度)	A
					教育プログラムを受けた児童生徒にアンケートを実施し集計済。	関連予算額(千円)	/	640	877	715	950	1,065	/	
10	1	2	(4)	学校給食提供環境整備事業	学校給食センター老朽化に伴う改築を計画。地元産食材を調達できる体制を構築し、食を通じた学びを促進します。	令和6年度までに学校給食センター改築工事を完了	-	検討	検討	検討	検討		完了 (2024年度末)	D
					用地取得や移転先、委託先について検討・協議するも不調。令和6年度も引き続き移転先等、改築に向けて検討を行う。地元産食材の調達について、概ね体制構築はできていることから、現体制の維持及び強化を図っていきたい。	関連予算額(千円)	/	0	0	0	0	0	/	
11	1	2	(5)	未来づくり事業	・(株)SMO南小国と連携して起業希望者や起業型地域おこし協力隊を支援するメニューを提供。 ・2021年度からは、新たに町内事業者の担い手不足を解消するための人材獲得に向けたマッチングや人材データバンク運用にも取り組む。	未来づくり事業による起業及び新規事業件数(件)	-	6	4	7	5		18 (期間累計)	A
					・令和5年度は、6名の起業型地域おこし協力隊が町内で様々な活動を行った。令和6年度からは新たに2名の協力隊が町内企業の新規事業プロジェクトに係る活動を行っている。 ・2021年度から取組を行っている「まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業」で南小国町版しごとコンビニの本格稼働を行った。実績としては、累計登録者数108名、実施稼働回数644件となった。 ・地域越境人材データバンクについては、改良や関係人口・地域越境人材の広がりや定義づけの考察を深め本格稼働を始めた。	関連予算額(千円)	/	50,302	25,028	49,057	60,294	60,540	/	

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1-2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
					2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)		開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
12	1	2	(5)	夢チャレンジ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民による起業に係る経費の一部を補助。</li> </ul>	夢チャレンジ補助金による起業及び新規事業件数(件)	8	4	1	5	5		38 (期間累計)	C
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢チャレンジ推進事業の募集を実施し、合計5件の応募があった。</li> <li>・2023年度は、町内への移住を伴う形での応募もあり、移住者の確保にも繋がった。</li> </ul>	関連予算額(千円)	/	6,560	2,499	13,000	15,000	15,000	/	
13	2	3	(7)	移住希望者相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関とも連携して、移住希望者の相談体制を構築。</li> <li>・移住者の定着に向けた支援。</li> </ul>	移住相談件数(件)	30	39	47	40	22		200 (期間累計)	B
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「空き家バンク」登録物件の内覧対応を行った。</li> <li>・東京・大阪・福岡で開催された対面での移住関連イベント等への出展を行った。</li> <li>・移住定住コーディネーターを設置し、空家対策と絡めて町内の空家等に関する情報収集を行った。また、移住者と地元住民とのつなぎ役を担った。</li> </ul>	関連予算額(千円)	/	6,311	7,385	3,760	3,940	9,940	/	
14	2	3	(7)	住宅確保促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家バンクの運用。</li> <li>・空家の改修による賃貸住宅化。</li> </ul>	民間賃貸住宅整備戸数(戸)	12	2	12	2	2		12 (期間累計)	A
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・「空き家バンク」の物件充実に向け、チラシ等を活用した広報活動に取り組み、住宅の確保を行ったが、移住希望者から求められる物件の確保には至らなかった。</li> <li>・昨年度からの繰越で、空家等を活用した賃貸物件確保に向けて取り組み、2023年度分と併せて、2棟の改修工事を実施できた。実際の運用開始に向け、要綱等の整備を進めている。</li> </ul>	関連予算額(千円)	/	2,000	12,000	2,580	16,740	27,540	/	
15	3	4	(10)	児童の放課後の居場所確保支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の放課後の居場所の確保が困難な家庭を支援するための仕組みの創設。</li> </ul>	児童の放課後の居場所を確保する仕組みの創設	-	放課後子ども教室 拡充	放課後子ども教室 拡充	放課後子ども教室 拡充	現状維持		創設完了 (2020年度末)	B
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会所管の放課後子ども教室を週4日実施している。活動スタッフの確保が、事業を継続するための課題となっている。</li> </ul>	関連予算額(千円)	/	578	827	1,176	1,611	1,834	/	

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
16	3	4	(10)	子育て世代包括支援センター設置・運営事業	<p>・妊娠期から子育て期まで切れ目ない総合的な支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置・運営。</p> <p>・妊産婦や子育て家庭に対する支援にあたる「子ども家庭センター」については、設置に必要な専門職員を確保した。令和6年4月から本格的に運営を行っていく。</p>	<p>子育て世代包括支援センターの設立</p> <p>子育て世代包括支援センターの利用満足度(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	-	未設立	未設立	設置済	設置済		<p>設立完了 (2020年度末)</p> <p>100 (運営開始後 毎年度)</p>	B
17	3	4	(11)	「通いの場」創出促進事業	<p>・介護予防や健康増進につながる地域住民の交流機会としての「通いの場」づくりの支援。</p> <p>・コロナ禍における活動自粛の影響で新規の通いの場の立ち上げには至らなかった。今後も、定期的に通いの場の活動状況を確認していく。</p>	<p>週1回以上開催している住民主体の通いの場の個所数(箇所)</p> <p>週1回以上開催している住民主体の通いの場の高齢者参加率(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	10	13	13	12	12		<p>20 (2024年度末)</p> <p>10 (2024年度)</p>	C
18	3	4	(11)	支え合い活動担い手育成事業	<p>・地域における支え合い活動に「生きがい」や「役割」を感じながら主体的に参画する担い手となる町民を増やすため、福祉教育、広報、啓発活動等に取り組む。</p> <p>・民生委員児童委員協議会による高齢者等の見守り活動には一定の効果が見られているが、それ以外の一般町民の主体的な活動の展開に至らなかった。</p>	<p>住民ボランティア等担い手の人数(人)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	37	37	37	37	37		<p>50 (2024年度)</p>	C
19	4	5	(12)	タクシー利用助成事業	<p>・運転免許証を保有しない高齢者や運転ができない障がい者にタクシー利用費の一部を助成。</p> <p>・2023年度は延べ1万人近い方が利用し、利用者の満足度も約85%になるなど運転免許を保有しない高齢者等の交通手段の確保に寄与した。</p> <p>・負担金額等においても約80%を超える方から評価を得ている。</p>	<p>タクシー利用助成事業に関する利用者満足度(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	68	96	94	89	84		<p>70 (毎年度)</p>	A

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
					2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)		開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
20	4	5	(14)	町道中湯田赤迫線改良事業	・町道中湯田赤迫線(瓜上矢田原線)の古賀集落から矢田原集落間の延長約2kmを、道路幅員3~4mから5mの道路に改良する。 ・延長163mの改良工事を実施。(改良済延長1,803m)	町道中湯田・赤迫線の道路改良を完了 (数値は進捗率)	49%	54%	65%	84%	92%		完了 (2024年度末)	B
						関連予算額(千円)	/	64,181	70,819	80,000	45,000	111,000	/	
21	4	5	(15)	ICT・IoT導入に向けた調査・研究事業	・本町に適したICT・IoT導入方法を研究し、ロードマップを作成。 ・デジタル田園都市国家構想交付金について、国の計画策定支援事業の採択を受けて計画策定を行った。コンサルと共に地域住民へのヒアリング等を実施しつつサービス選定し、令和6年度に向けたいくつかのサービス実装計画を策定し、採択された。	ICT・IoT関連ロードマップ作成	-	作成完了	-	-	-	-	作成完了 (2020年度末)	A
						関連予算額(千円)	/	0	0	20,801	0	0	/	
22	4	5	(15)	ドローン利活用の展開	・ドローンの利活用による事務作業の効率化。 ・ドローン関係のシステムと他のシステムとの連携により、災害に備えた体制の構築。 ・ドローンによる有害鳥獣捕獲への活用や町防災訓練への活用など、ドローンの利活用に向けて取組んだ。	ドローン撮影データのアップロード量及び活用量(GB)	40	4	13	7.0	5		70 (2024年度)	D
						関連予算額(千円)	/	5,965	3,677	4,205	4,205	4,205	/	
23	4	6	(18)	木質バイオマス導入促進事業	・温泉館きよらの木質チップボイラを活用し、民間による導入促進に向けたPR活動を実施。 ・広報誌1回、林野庁でのバイオマス産業都市構想プレゼン1回、バイオマス産業都市構想認定についての町HP掲載、熊本日日新聞掲載、小学生の出前授業での啓発活動を行った。 ・ペレットストーブ等購入補助金の活用により、ペレットストーブ4台の新規導入があった。	木質バイオマス導入に向けた啓発活動実施件数(件)	0	6	5	3	5		6 (毎年度)	C
						関連予算額(千円)	/	658	300	750	1,500	3,000	/	

総合計画重点事業一覧(2023年度(令和5年度)事業実績評価書 兼 2024年度(令和6年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2023年度事業実績・成果、2024年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
24	4	6	(19)	再生可能エネルギー導入に向けた調査・研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー対策PTを組織し、本町に適した再エネ導入方法を研究したうえで、ロードマップを作成。</li> <li>・2020年7月にエネルギー対策PTを設置し、5回のPT会議や先進地視察、パブリックコメントなどを経て、2021年3月に「南小国町再生可能エネルギー導入ロードマップ」を作成。</li> </ul>	再生可能エネルギー関連ロードマップ作成	-	作成完了	-	-	-	-	作成完了 (2020年度末)	A
						関連予算額(千円)	/	2,250	0	0	148	100	/	
25	4	6	(19)	再生可能エネルギー導入推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に居住する個人、又は町内に事業を有する法人へ太陽光発電設備等の購入及び設置費への補助を行う。</li> <li>・小水力発電については、令和4年度に実証事業を実施し、(株)SMOが管理する農園において発電設備が稼働している。</li> <li>・2021年度から実施の太陽光発電設備等導入促進補助金により、1件の導入があった。</li> <li>・南小国町に住所を有する個人の住宅において、太陽熱利用システムを設置する方又は既に設置した太陽熱利用システムの修理又は再設置を行う方で、2万円以上の経費に対して、補助対象経費の1/5を補助。(令和5年度 2件:134,000円)</li> </ul>	役場関与により導入された再生可能エネルギー施設導入件数(件)	0	0	5	7	3	5 (期間累計)	A	
						関連予算額(千円)	/	0	2,390	9,168	4,568	4,568	/	
26	4	6	(20)	町民の省エネ活動促進のための普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民向けに省エネの必要性や省エネにつながる具体的な活動について理解しやすい形での周知広報活動に継続的に取り組む。</li> <li>・令和6年3月に子供デイサービス利用者を対象として、環境問題に関するアニメーションを利用した学習を実施した。また、広報誌には省エネルギーに関する記事を3回掲載し、省エネルギーに貢献するためのハードルを低くするため、家庭で実施可能な行動の周知を行った。その他、ゴミカレンダーの配布やホームページを使ってゴミの分別リサイクルの周知、二酸化炭素排出量調査結果の更新等を行った。</li> </ul>	省エネ活動に関する啓発活動実施件数(件)	2	13	4	9	9	12 (毎年度)	C	
						関連予算額(千円)	/	0	5	5	5	5	/	

地方創生交付金事業一覧(令和5年度事業実績評価書 兼 令和6年度事業実施計画書)

資料 1-2②

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
					令和5年度事業実績・成果、令和6年度の変更点等(下段)		開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
101	2	3	(7)	地域DMOを中核とした海外からの人流受入体制強化事業	㈱SMO南小国への補助事業として次の事業を推進。 ①インバウンド(外国人観光客)を主要ターゲットとする町の魅力を発信する動画の制作、配信及び着地型ツアーメニューとの連動 ②町内の外国人の定着に向けたコミュニティづくりの支援及び観光産業の担い手としての育成プログラムの企画・実行  ・2022年度で事業は終了している。今後は、国の補助事業を活用しながら、インバウンド対策等に向け事業を行っていきたい。	・本町への外国人宿泊者数(千人)	79.1	12.1	0.2	5.2			96(2022年度)	-
						・制作した動画の閲覧数(千PV)	0.0	4.1	32.5	102.9			66.9(期間累計)	
						・町内外国人向けプログラム延べ参加者数(人)	0	57	235	207			420(期間累計)	
						関連予算額(千円)		12,000	12,000	12,000				
102	2	3	(7)	まちな人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業	㈱SMO南小国への委託事業として次の事業を推進。 ①兼業・複業など多様な働き方も含めた柔軟な視点での町内事業所等の求人ニーズの調査・分析するとともに、働き手の求職ニーズを分析し、最適なマッチングを行うとともに、合同研修等を通じた人材の育成・定着を促進する。 ②本町に関わる、又はその可能性がある、複数地域で多様な活動を展開する人材(地域越境人材)について、その情報を活用しやすい形で整理したデータバンクを運用する。  ・本年度も㈱SMO南小国に業務委託を行い、仕事コンビニを軸とし、地域越境人材が活躍できるような副業兼業案件の組成、町内業者が多様な人材活用が出来るようになるための研修を行った。 ・仕事コンビニについては、安定的に実施するためのブラッシュアップ・モデルケースの展開・研修などを行った。また、町内の広報誌等で周知を図り、事務局や地域拠点で登録者説明会を行った。案件組成に関しては、事業者への訪問や稼働後の連絡を密にし継続的な稼働に繋がった。実績としては、累計登録者数108名、実施稼働回数644件となった。 ・地域越境人材データバンクについては、改良や関係人口・地域越境人材の広がりや定義づけの考察を深め本格稼働を始めた。 ・地域人材獲得・育成・定着促進協議会で引き続き仕事コンビニを軸に町内の人手不足の緩和に向けた取り組みを進めることで合意され、2024年度は複数事業を組み合わせ、自立化に向けた事業構築に向け取り組みを行っていく。	起業及び新規事業による売上総額(千円)	-	-	1,755.3	1,858.8	4,441		18,000(期間累計)	B
						新たな雇用事業登録マッチング件数(件)	-	-	4	37	117		155(期間累計)	
						地域越境人材データバンク登録人数(人)	-	-	15	54	103		90(期間累計)	
						当該事業による移住者数(人)	-	-	3	7	2		17(期間累計)	
						関連予算額(千円)	-	-	14,000	24,000	24,000	24,000		

地方創生交付金事業一覧(令和5年度事業実績評価書 兼 令和6年度事業実施計画書)

資料 1 - 2 ②

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本 目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業 評価	
					令和5年度事業実績・成果、令和6年度の変更点等(下段)		開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
103	2	3	(7)	ローカルベンチャー推進事業	㈱SMO南小国への委託事業として次の事業を推進。 ①ローカルベンチャースクール事業(人材育成事業) ・南小国町が取り組んでいる観光を軸とした農林畜産業の振興というコンセプトに基づき、町内外の創業を志向する者等に対して、南小国町における創業促進を目的として開講する。 ②ローカルベンチャー活動発信事業(マッチング事業) ・都市部人材に向け、Webサイトの活用や各種イベントへの出展を通じて当町のローカルベンチャーへの取組み状況等の情報発信を行うことにより、当町への関心を喚起する。また、関係人口や移住、就労、起業を含めた南小国町に関わる人の可視化を目的としたシステムを開発することにより、ローカルベンチャー人材の発掘及びマッチングを実施する。 ③ローカルベンチャー支援事業(事業成長支援事業) ・南小国町において起業創業した者に対し、伴走しながら事業を軌道に乗せるためのノウハウを提供するメンター、その他事務に従事する専門スタッフを配置する。	ローカルベンチャーによる売上規模(千円)	50,000	290,000	-	-	-	/	200,000 (2020年度)	-
						新規事業創出数(件)	2	6	-	-	-	/	5 (2020年度)	
						起業家型人材の地域へのマッチング数(人)	3	16	-	-	-	/	12 (2020年度)	
						関連予算額(千円)	51,472	38,470	-	-	-	/	/	
・2020年度で事業は終了している。後継事業として、「まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業」を実施中。														